



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23
 西宮YMCA内
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2013年8月会報 第299号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長 (AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事 (RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)
 主題: 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語: 「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己 (神戸ポート)
 主題: 「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題: 「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ:ユースアクティビティーズ
 「天地は滅びるであろう。しかし、わたしの言葉は決して滅びない。」
 マルコ 13:31

2013年8月第1例会
 日時: 2013年8月14日(水)18:30
 場所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 多胡 葉子
 杉谷 和代
 石田由美子会長
 全 員
 小島規似郎
 吉田 明
 石田由美子会長
 新六甲部部长 山田 滋己氏
 誕生日のお祝い
 石田由美子会長
 谷川 尚連絡主事
 石田由美子会長
 会長報告 石田由美子会長
 YMCA 報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 石田由美子会長
 納涼大会 (ビアガーデン)

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚、 六甲部地域奉仕環境事業主査 長尾 亘																													
事業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘																													
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸																													
お誕生日 おめでとう	多胡葉子(8月2日) 森田紀子(8月4日) 若林弘子(8月28日)																													
7 月 実 績	<table border="0"> <tr> <td>在籍会員数</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>例会出席者数</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>うち会員数</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>70.8%</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ(内数)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>メネット</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター4名</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>BFポイント</td> <td>7月</td> <td>5,142円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>5,142円</td> </tr> <tr> <td>にこにこBOX</td> <td>7月</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>物品販売累計</td> <td></td> <td>4,000円</td> </tr> </table>	在籍会員数	24名	例会出席者数	22名	うち会員数	17名	出席率	70.8%	メイクアップ(内数)	0名	メネット	1名	コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター4名		BFポイント	7月	5,142円		累計	5,142円	にこにこBOX	7月	0円		累計	0円	物品販売累計		4,000円
在籍会員数	24名																													
例会出席者数	22名																													
うち会員数	17名																													
出席率	70.8%																													
メイクアップ(内数)	0名																													
メネット	1名																													
コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター4名																														
BFポイント	7月	5,142円																												
	累計	5,142円																												
にこにこBOX	7月	0円																												
	累計	0円																												
物品販売累計		4,000円																												

2013年7月第1例会

7月10日(水)18時30分から宝塚ホテルにて7月第1例会が行われた。出席者はメン17人、

メネット1人、ゲスト4名、計22名。ゲストにアジア会長・岡野泰和氏、西日本区Yサ事業主任・正野忠之氏、阪神自立の家施設長・石田英子氏らを迎えた。



長尾会長による開会点鐘、ワイズソング斉唱、福田メンによる聖書朗読、堀江メンによる開会祈祷に続いて役員交代式が行われ、石田由美子新会長をリーダーとする杉谷・福田宏子副会長、吉田会計担当、若林書記の新体制がスタートした。

食事の後、定期総会に移り、資料に基づいて前年度の決算報告が行われた。吉田会計担当の詳細な説明を通して前年度の数々の行事に挑戦した足跡を振り返りつつ、今田監事の監査報告を受けて、決算を承認した。特に、宝塚クラブのチャーター25周年記念事業では200名余の来場者を迎え、記念例会の剰余金全額を西宮YMCAのユース活動に捧げられたことは特筆される。

次いで、石田会長により会長方針「交流こそワイズの楽しさ」とする所信が表明された。前年の西日本区交流事業主任の成果を踏まえての元気溢れる一声が流れ、「よし、やるぞ!」という気運が高まった。この後、各事業委員長・各特別事業委員長から13/14年度の事業方針・活動計画等が紹介され、全員が拍手でこれに賛意を表し、総会を終了した。

その後、7月末からマニラで行われるユース

コンボケーションに参加する桑田勝弥メンの壮行式が行われた。桑田メンが英語で決意表明を行い、正野Yサ主任と岡野アジア会長の激励の言葉が添えられ、我がクラブホープの門出を祝福した。

終わりに、石田英子氏からストラディヴァリウス・チャリティコンサートへの協力要請、メネット活動報告、YMCA報告、会長報告があり、石田会長の閉会点鐘でお開きとなった。

なお、第2例会は、7月17日(水)、先般の西日本区大会で奈良傳賞を授賞された三品ミチ子メンの祝賀会と長尾直前会長のご苦勞さん会を兼ね「がんこ亭」で開催される。

(若林)

7月第2例会報告

日時：7月17日(水)17:30～

場所：がんこ亭

出席；石田、吉田、堀江、山崎、加藤、福田宏、福田素、武田、今田、今田和

内容 1. 8月の第一例会の持ち方

- ・6:30～7:00 ホテルゴールドの間
開会点鐘～閉会点鐘までの時間を30分とする。六甲部長とキャビネットが公式訪問山田六甲部長でゲストスピーカーとする。
- ・7:00～8:30 ビアガーデン
恒例の納涼大会として交流をする。
- ・会費はいつものとおり
メン、メネット3,000円・
ビジター3,500円、
- ・ホテル側との交渉は多胡

2.ブリテンに関して

時間の関係で長尾ブリテン担当からメールにて依頼

3、岩国クラブとの DBC 交流に関して

岩国飛行艇カレーを宝塚クラブが販売協力を検討

第1回六甲部評議会報告

「さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ」—山田滋己六甲部部長主題

2013年7月13日(土)、13:30、山田滋己六甲部部長の開会点鐘で今期初めての評議会が開催された。会場は山田部長の母校、神戸大学海事科学部深江キャンパス。かつては神戸商船大学で阪神間の女子学生には「かっこいい」存在であった。この日の暑さは最高。海の学校での集まりにはピッタリであったが、やはり会場の冷房に生き返った感じがした。

第1部は評議会で、上野恭男直前部長による「楽しくなければワイズじゃない」を実践した活動報告、桑野友子直前会計による会計報告などがあった。その後、今期の各主査、クラブ会長から活動計画、山崎往夫会計から予算案の発表があり、全項目に承認が得られた。(議決権者 30名)



第2部は EMC 研修会(15:30~16:45)。「ワイズメンズクラブの生い立ちと現状」と言うタイトルで、為国光俊 EMC 事業主任(京都パレスクラブ)の講演があった。為国主任の取組みは、例会を楽しくしてワイズメンの満足度を高めて退会をなくし、入会を促進する、と理解した。

京都パレスクラブは毎月新入会員候補者にオリエンテーションを行い、ワイズメンズクラブのドアを開きやすくし、入った後も違和感を持つ事がないようにしっかり説明をしているとの事。常に70名余りの会員を保持しているクラブには地道な努力がなされていると再認識した。

第3部は、8クラブ合同納涼懇親交流会となり、会場のホワイエには神戸グリーンヒルホテルのケータリングサービスで、美味しいお料理が並んだ。宴



もたけなわになると六甲部お得意の歌声喫茶

「ろっこう」が開店となり、シンガーソングランナーの大野勉ワイズや鶴丹谷剛ワイズのギターに合わせて大合唱。自慢の「歌唱集」が今回も大活躍となった。19:00 過ぎに閉会点鐘が鳴り、少し涼しくなった深江の町をそぞろ歩きしながら帰路についた。

(石田 由美子)

三品ワイズの奈良傳賞を祝う会



日本のワイズメンズクラブ創始者の奈良傳氏の偉業を記念して永年にわたり多くのワイズより敬愛され、YMCA への働きが顕著であり、ワイズの会員歴が30年以上、満70歳以上の者の条件に合うワイズに贈呈されます。日本で初めて創られた大阪クラブで、会長も務め何よりも女性会員の先駆者であり、このたび大阪ク

ラブの会長と連名で推薦しました。そして、友人達も参加して、お祝いの会と例年行っています直前（長尾）会長のご苦勞さん会と一緒に行いました。

武田寿子ワイズ

神戸 YMCA 前会長（理事長）感謝会

私達のメンバーである武田寿子メンは神戸 YMCA 会長・理事長として 2003 年から 11 年間の重責を果たされこの 5 月の総会で中道新会長（理事長）へ交代されました。その間のお働きを覚え感謝の会が ANA クラウンプラザホテル ロビー一階ザテラスでもたれました。

今井顧問夫妻をはじめ理事会、常議委員会などの神戸 Y で役員としてご一緒された方々、職員、そしてワイズ関係者（我がクラブからは今田夫妻、吉田、堀江、福田宏、多胡の 6 人）など約 60 人が集り、長年に亘る武田さんのお働きを感謝し武田さんを囲んで楽しい交流のひと時がもたれました。

その席上、彼女がこれまでに神戸 Y に深く関わられたいきさつを述べられた中でエピソードとして語られた私には印象に残ったお話がありました。

11 年前に神戸 Y から再度理事長就任の要請

に迷っていた時に夫の建先生のひと言が追い風になったとのこと。

「もしも、理事長を引き受けることを承諾するならば離婚」その言葉に「私の人生は私が決める」と言って大好きな YMCA の理事長を引き受けられたとのこと。

11 年の間に関わってこられた数々の大切な



お働きののなかの一つに日本、アジア YMCA のジェンダー問題に取り組まれた活動がある。そのエピソードを聞き私は YMCA の女性スタッフのさらなる意識向上を助けられたお働きへとつながって行ったのではと思われました。

素晴らしいご活躍、お働きの数々を集まられた皆様方と共有し今後につながる YMCA、ワイズメンズ活動への彼女の一層の関わりを思いながら楽しい感謝会のひと時でした。

多胡 葉子

第 16 回神戸 YMCA チャリティーラン

「心身に障がいのあるすべての
人たちに笑顔を」

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 2013年11月4日（月・休） |
| 場 所 | しあわせの村 |
| 目 的 | ①YMCA が主催・共催する障がい児・者プログラムを支援し「共に生きる」社会をめざします。
②神戸 YMCA に関わる多くのボランティアやメンバーが協働し、交流を通して「心のふれあい」を促進します。
③広く市民に参加を呼びかけ、ボランティアによる運営を大切に、「ボランティアの心」を育てます。 |

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

若松英輔と言う批評家であり、哲学者の書いたものに注目しています。若松さんは「死者」について、それはすでに死んで存在しない者ではない。彼らは死んで、肉体が滅びた後も実在する。いわば「生きた死者」である。わたしたち地上に生きている者は、さまざまな場所で、

死者との対話をしながら生かされている。それは実在する「生ける隣人である」と語ります。その両者を媒介するのが「ことば」であり、私たちは死者の残した「ことば」によって、人生を動かされたり、慰められたり、力をもらうわけです。天地は過ぎ去ります。社会の出来事も大きく転換していきます。しかし「ことば」は変わることなくそうした不安や、あせりのなかを生きる者に語りかけて来るのです。(辻建)



1. 夏来る

いよいよ夏休み、本格的な夏の特別プログラムの時期が始まりました。近年、7月はまだ大学生は授業もありユースリーダーの本格始動は8月からですが、7月のキャンプはリーダーOBなど有志の手も借りながらスタートしています。先日は、保育園の4歳児5歳児のキャンプを引率して六甲山に1泊しました。あっといふ間の時間でしたが、その中でも、自然に触れ、仲間と一緒に生活する中で、子どもたちの表情の変化、そして心情の変化に触れることができ、改めてキャンプの大きさを感じました。7月下旬には、福島県の子どもを対象とした復興支援キャンプも行われていますが、キャンプの力が、子どもたちの癒しそして育ちにつながるように切に願っています。このキャンプの実施については多くの方の募金によってまかなわれていますが、目標400万円という中で寄付を募らしていただけ、その目標を達成する中でキャンプが遂行されていることを感謝をもってご報告させていただきます。

2. 三宮会館再開発、(仮称)灘ブランチ開設の

進捗について

去る5月末に、中央区脇浜2丁目の土地を新しいウエルネスセンター(仮称・灘ブランチ)の用地として購入し、また一方で三宮会館の土地の約48%をマンション用地として売却することの合意に達し合意書を締結しました。これによって、まず脇浜に新しいウエルネスセンターを建設し、その後、三宮の残された52%の土地に新会館を建設するという段取りで準備が進められています。現在は、脇浜に関して基本設計が終了し、建設業者の選定の段取りに入っています。建物は機械室階を含めて6階建(実質5階建)で、プール、マシンルーム、スタジオ、児童デイルーム、高齢者デイルーム、ロッカー室などの施設が建設されます。完成時期は未定ですが、来年4月以降、できるだけ早い完成を期待しているところです。三宮新会館については、まだ基本設計に入る段階まで行きませんが、年内には公益財団法人としての収益事業となる協働事業者を決定したいとそのプロセスに入ろうとしています。進捗については、また例会やブリテンでお知らせいたします。

ワイズ用語

EMC

E=Extension (新クラブ設立)

M=Membership (会員増強)

C=Conservation (意識高揚)

宝塚クラブは例会を大切に活動の意識高揚(C)とゲストに声をかけ会員増強(M)新クラブ設立(E)を目標とし、子クラブを作る事がワイズの基本です。

宝塚クラブの子クラブは「さんだクラブ」です

お 願 い

2013・14年度前期会費納入

新しい年度になりました。会費納入をお願いします。

○ 前期分20,000円

(銀行振込みの場合)

銀行名	三菱東京UFJ銀行
	宝塚中山支店
口座番号	普通預金4585836
口座名	宝塚ワイズメンズクラブ会計